

第2回「スマートプラチナ社会推進会議」議事要旨(案)

1. 日 時：平成25年12月25日(水)10:00～11:30

2. 場 所：総務省7階省議室

3. 出席者：

(1) 構成員

小宮山座長、小尾座長代理、秋山構成員、浅川構成員、飯泉構成員、小倉構成員、金子構成員、清原構成員、武藤構成員

(2) オブザーバ

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室、内閣官房健康・医療戦略室、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付高齢社会対策担当、文部科学省生涯学習政策局社会教育課、厚生労働省政策統括官付情報政策担当、経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室、国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室

(3) 総務省

上川総務副大臣、桜井総務審議官、鈴木官房統括審議官、阪本情報通信国際戦略局長、吉田政策統括官、渡辺大臣官房審議官、佐藤情報通信利用促進課長、田邊情報流通高度化推進室長

4. 議事要旨：

(1) 開会

(2) 上川総務副大臣挨拶

上川総務副大臣による挨拶が行われた。

(3) 議事

① 構成員によるプレゼンテーション

秋山構成員より資料2-2、浅川構成員より資料2-3、飯泉構成員より資料2-4、清原構成員より資料2-5、金子構成員より資料2-7に基づき、それぞれプレゼンテーションを行った。

② 意見交換

本会議で検討すべき内容や方向性について、各構成員から以下の意見が出された。

(小尾座長代理)

- ・ 本会議をアベノミクスの成長戦略の中で位置付けるとすると、今後、戦略部会では、経団連や商工会議所、同友会を含めて、新しい産業を興し、それによって高齢者の雇用を吸収していくような国際的なモデルができることを期待したい。
- ・ 来年6月にはシンガポールで、日本・ASEAN・APECの会議が開催される。ちょうど本会議の報告書が完成する時期であり、世界にこれを発信できる非常にいいチャンスだと思う。

特に、秋山構成員が挙げた在宅の問題は、世界でまだまだ不十分な分野であるため、日本の貢献ができると思う。また、金子戦略部会主査の様々な視点が、今後3月の本会議に結びつく重要なデータになることを期待する。

(小宮山座長)

- ・ 小尾座長代理も述べたとおり、特に成長戦略の中に位置づけるという視点からも、本当にビジネスとして成り立ち得るようなモデルを探していきたい。
- ・ ICTの技術サミットのような場を通じて、スマートプラチナ社会のICTの役割を共有すべきではないか。

(4) 上川総務副大臣ご発言

最後に上川総務副大臣からご発言があった。

(5) 閉会

以上